

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月8日

上場会社名 株式会社リプロセル 上場取引所 東  
 コード番号 4978 URL https://www.reprocell.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横山 周史  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 片山 浩美 TEL 045-475-3887  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月11日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
 四半期決算説明会開催の有無: 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	186	-	△43	-	△75	-	△75	-
25年3月期第2四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 △75百万円 (-%) 25年3月期第2四半期 -百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△1.85	-
25年3月期第2四半期	-	-

※1. 平成26年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成25年3月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 当社は、平成25年9月1日付で株式1株につき5株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	2,857	2,687	94.0	60.71
25年3月期	-	-	-	-

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 2,687百万円 25年3月期 -百万円

※ 平成26年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成25年3月期の数値は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
26年3月期	-	0.00	-	-	-
26年3月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	477	-	△88	-	△59	-	△60	-	△1.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

当社は、平成25年9月1日付で普通株式1株につき5株の株式分割を行っております。連結業績予想の1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割後の発行済株式数（自己株式数を除く）により算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	44,271,250株	25年3月期	38,296,250株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	250株	25年3月期	ー株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	41,074,680株	25年3月期2Q	ー株

※当社は、平成25年9月1日付で株式1株につき5株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算説明会内容の入手方法について）

当社は、平成25年11月13日（水）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。  
この説明会で配布する資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9



## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、第1四半期連結会計期間から四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っていません。

### (1) 経営成績に関する説明

京都大学の山中伸弥教授がノーベル医学生理学賞を受賞したことを契機として、iPS細胞の研究及び実用化促進へ向けた機運は高まっております。一方、当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、安倍政権による経済対策や金融政策等の効果に対する期待感により、引き続き円安・株高に推移し、回復基調となっております。

このような状況の下、当社グループにおいては、iPS細胞事業の主力製品である研究試薬製品及び細胞製品について、研究開発活動を強化するとともに、平成25年7月に新規の培養液「ReproXF」の販売を開始いたしました。また、国内外のシェア拡大のために、販売代理店等の営業網の強化及び学会・展示会等でのプロモーション活動を積極的に行っております。一方、臨床検査事業では、主力検査である抗HLA抗体検査の検査数を順調に伸ばすとともに、新たな臨床検査項目を追加いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は186,667千円、営業損失は43,633千円、経常損失は75,466千円、四半期純損失は75,874千円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① iPS細胞事業

研究試薬製品は、Primate ES cell medium等の主力製品の売上を堅調に伸ばすとともに、動物由来成分を含有していないヒトiPS/ES細胞用培養液「ReproXF」の販売を新たに開始いたしました。動物由来成分のない安全性の高い培養システムにより、再生医療の早期実現を促進できるものと期待しております。

一方、細胞製品については、心筋、神経、肝臓、アルツハイマー病神経細胞を販売しており、製薬企業を中心に顧客層が広がっております。また、独立行政法人科学技術振興機構の再生医療実現拠点ネットワークプログラムの分担機関として採択されており、研究開発に関しても積極的に進めております。

この結果、売上高は162,834千円、セグメント利益は30,015千円となりました。

#### ② 臨床検査事業

臨床検査においては、臓器移植で必要とされる「HLAタイピング」「抗HLA抗体検査」「フローサイトクロスマッチ検査」を日本全国の100以上の病院から受注しており、整合性のとれた確度の高いデータを提供しております。また、新たな臨床検査項目として「ICFAクロスマッチ検査」を追加いたしました。これは、臓器移植における免疫拒絶の有無を予測するための新しい検査方法であり、従来の検査方法より薬剤投与の影響を受けにくく高精度の検査結果が得られることが期待されております。

この結果、売上高は23,832千円、セグメント利益は9,685千円となりました。

なお、管理部門にかかる費用など各事業セグメントに配分していない全社費用が115,166千円あります。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は2,828,299千円となりました。主な内訳は、現金及び預金が2,710,463千円、売掛金が49,740千円であります。固定資産は29,578千円となりました。主な内訳は、有形固定資産が19,263千円であります。

##### (負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は82,409千円となりました。主な内訳は、買掛金が26,904千円、未払金が24,469千円であります。固定負債は87,945千円となりました。主な内訳は、長期借入金が80,000千円あります。

##### (純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は2,687,522千円となりました。主な内訳は、資本金が1,382,839千円、資本剰余金が2,266,284千円あります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、2,713,642千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果使用した資金は12,304千円となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失75,466千円、株式公開費用20,440千円、株式交付費23,477千円、売上債権の減少額25,427千円、たな卸資産の増加額10,193千円、仕入債務の減少額10,920千円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は1,947千円となりました。これは主に研究用機器の購入による有形固定資産の取得による支出1,962千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果獲得した資金は2,476,784千円となりました。これは主に東京証券取引所 J A S D A Q（グロース）上場に伴う株式の発行による収入2,443,961千円、新株式予約権の行使による株式の発行による収入52,839千円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第1四半期連結会計期間において、ReproCELL USA Inc. を連結範囲に含めているため、第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しております。

平成26年3月期における通期の業績予想につきましては、平成25年6月26日に公表しました業績予想に変更はありません。

現在、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の研究開発プロジェクトを始め、複数の機関からプロジェクトの採択を受けて研究開発を行っております。なお、補助金収入については、補助金の収益の認識基準に従って計上しております。このため、当連結会計年度において開始した研究開発に関しては、当第2四半期連結会計期間においては計上せず、主として、第4四半期連結会計期間において一括計上する見込みであります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間より、非連結子会社でありましたReproCELL USA Inc. は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間  
 (平成25年9月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	2,710,463
売掛金	49,740
商品及び製品	39,525
仕掛品	4,139
原材料及び貯蔵品	3,874
その他	20,556
流動資産合計	2,828,299
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物(純額)	10,555
機械装置及び運搬具(純額)	906
工具、器具及び備品(純額)	7,801
有形固定資産合計	19,263
無形固定資産	
特許権	3,580
その他	733
無形固定資産合計	4,314
投資その他の資産	
敷金及び保証金	6,000
投資その他の資産合計	6,000
固定資産合計	29,578
資産合計	2,857,877
負債の部	
流動負債	
買掛金	26,904
未払金	24,469
未払法人税等	4,280
賞与引当金	3,941
その他	22,813
流動負債合計	82,409
固定負債	
長期借入金	80,000
資産除去債務	6,633
その他	1,311
固定負債合計	87,945
負債合計	170,354

(単位：千円)

		当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金		1,382,839
資本剰余金		2,266,284
利益剰余金		△961,515
自己株式		△915
株主資本合計		2,686,693
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定		828
その他の包括利益累計額合計		828
純資産合計		2,687,522
負債純資産合計		2,857,877



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	
製品売上高	157,695
役務収益	28,972
売上高合計	186,667
売上原価	
製品売上原価	70,166
役務原価	11,093
支払ロイヤリティ	1,364
売上原価合計	82,623
売上総利益	104,044
販売費及び一般管理費	
研究開発費	44,881
その他の販売費及び一般管理費	102,796
販売費及び一般管理費合計	147,677
営業損失(△)	△43,633
営業外収益	
受取利息	90
補助金収入	11,276
その他	1,106
営業外収益合計	12,473
営業外費用	
支払利息	161
株式公開費用	20,440
株式交付費	23,477
その他	226
営業外費用合計	44,306
経常損失(△)	△75,466
税金等調整前四半期純損失(△)	△75,466
法人税、住民税及び事業税	533
法人税等調整額	△125
法人税等合計	408
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△75,874
四半期純損失(△)	△75,874



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△75,874
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	828
その他の包括利益合計	828
四半期包括利益	△75,045
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△75,045
少数株主に係る四半期包括利益	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△75,466
減価償却費	5,234
補助金収入	△11,276
賞与引当金の増減額(△は減少)	755
受取利息	△90
支払利息	161
為替差損益(△は益)	△1,113
株式公開費用	20,440
株式交付費	23,477
売上債権の増減額(△は増加)	25,427
たな卸資産の増減額(△は増加)	△10,193
仕入債務の増減額(△は減少)	△10,920
未払金の増減額(△は減少)	6,283
その他	△12,234
小計	△39,516
利息の受取額	90
補助金の受取額	28,898
利息の支払額	△161
法人税等の支払額	△1,615
営業活動によるキャッシュ・フロー	△12,304
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,962
その他	15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,947
財務活動によるキャッシュ・フロー	
株式の発行による収入	2,443,961
新株予約権の行使による株式の発行による収入	52,839
株式の発行による支出	△1,629
株式公開費用の支出	△17,472
自己株式の取得による支出	△915
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,476,784
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,742
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,464,274
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,189
現金及び現金同等物の期首残高	248,178
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,713,642

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年6月25日を払込期日とする一般募集（ブックビルディング方式による募集）による株式の発行及び平成25年7月24日を払込期日とする第三者割当による新株発行の払込みを受けました。また当第2四半期連結累計期間において新株予約権の行使による払込みを受けました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ1,257,840千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が1,382,839千円、資本剰余金が2,266,284千円となっております。

(セグメント情報等)

当第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日至平成25年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	iPS細胞事業	臨床検査事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	162,834	23,832	186,667	—	186,667
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	162,834	23,832	186,667	—	186,667
セグメント利益	30,015	9,685	39,700	△115,166	△75,466

(注) 1. セグメント利益の調整額△115,166千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。